

まちづくりあいかわ

歴史的資源を活用した地域活性化の活動報告

「佐渡・相川ナイト in 渋谷」開催報告

3月18日、相川の魅力を伝えるイベントとして「佐渡・相川ナイト」が東京・渋谷にて開催されました。金継メンバーに加え、地域産業振興課の藤井優輝主事、移住交流推進課の川邊浩也主事のサポートのもと、地域との関わり方を模索する方や移住に関心を寄せる方々に、「ご来場いただきました。」

当日は、佐渡・相川を知ってもらうため、相川の歴史や文化、そして金継の取り組みについて紹介を行いました。あわせて「相川の新しいグッズを考えてみよう」というグループワークや、交流会が設けられ、来場者同士が自然と会話を交わす場となりました。

佐渡・相川に関心を持つ方や佐渡にルーツがある方、二地域居住をされている方など、多様な背景を持つ来場者が集い、会場は賑わいを見せました。相川を訪れた経験のある来場者からは、「相川の趣ある町並みや人々のぬくもりが印象的」との声が聞かれました。会場では、加藤酒造と金継のコラボレーションで誕生した「金の熟成酒」を無名異焼のお猪口でご提供。特別試飲として用意された一杯に、「口当たりがまろやかで飲みやすい」「相川らしい取り組みで興味深い」といった感想が寄せられ、場の交流に彩りを添えました。



参加者の皆さんと金継メンバー

— 62号 —

発行所 佐渡市相川市民センター
〒952-1592
佐渡市相川栄町 27 番地
TEL 0259 (74) 3111 (代)
FAX 0259 (74) 2551

遠く離れた渋谷の地において、佐渡・相川の魅力とストーリーを届ける機会となった今回の取り組み。金継はこれからも、地域のハブ役としてまちの入り口となるサポートができるよう、活動してまいります。
(金継 新保)

「金継わらじ部」始動のお知らせ

相川祭りで履くわらじを自分たちの手で作り、地域に受け継がれてきた手仕事を次の世代へ繋いでいこうという想いから発足した「金継わらじ部」。その記念すべき第1回ワークショップを3月22日、善知鳥神社・参集殿にて開催しました。講師として、野草研究家の菊池はるみさん、両津で「おに Cafe」を営む井上ゆかりさん、相川の京町通りで「よう喜多屋」を営む井上妙涼さんの御三方をお迎えしました。

事前の募集で集まった参加者の皆さんを1期生として迎え、「縄ない」と呼ばれる、藁を扱う基本工程に挑戦しました。縄ないは、藁を手でこすり合わせ、よりをかけて一本の縄へと仕上げていく作業です。わらじ作りの要とも言える作業で、力加減や手の動きに工夫が求められます。参加者の皆さんは、講師陣の丁寧な指導のもと、試行錯誤を重ね、真剣な眼差しで作業に向き合っていました。



善知鳥神社参集殿で行われた第1回ワークショップの様子

作業後には、講師の皆さんによる「野草ジンジャーエール」が振る舞われ、ホッと一息つく和やかな空間になりました。全8回の「金継わらじ部」ワークショップは、相川祭りに向け、これからも続いていきます。
(金継 新保)

5月24日(日) 午後1時〜

相川三丁目 久保田きぬ子さん生家
相川下山之神町 「大山祇神社旧社務所」
内覧会 開催!!

先月号でもご案内した新規施設2施設について、整備の都合により延期となっていました内覧会を、この度、開催することとなりました。この内覧会では、相川車座の昨年1年間の取り組みも合わせて発表する催しにしたいと考えています。詳細につきましては、次号本紙でご案内します。

相川三丁目浜町の久保田きぬ子さん生家については、今回の改装で客室の整備は一通り終えました。今後、外構部などの整備を進めて行く予定です。また、今回整備した客室は海側の離れですが、母屋についても、今年度、期間限定で活用し、裂織などのミニ工芸体験や、相川の偉人や歴史などを紹介する展示、その他イベントなどを開催する予定です。

他方、昨年よりプレオープンしておりました大山祇神社の旧社務所については、追加整備も進んでおり、その中で樹木医さんのご指導の下、周辺の樹木整備や、あずま屋“の設置ができました。

2施設とも、宿泊者や観光のお客様だけではなく、地域の皆様にも活用していただける施設として、今後の取り組みを行っていききたいと考えています。

(相川車座 雨宮)

「佐渡國相川ひなまつり」参加のご報告

お陰様で、今年も「相川ひな祭り実行委員会」様からのご支援の下、「佐渡國相川ひなまつり」展示会場の一つとして相川下町交流ロビー(清水家ロビー)の参加を無事に終えることができました。今年も天候不順などもあり、約220名のお客様に足をお運びいただきました。「ちくちくの会」とも期間が

重なったため、昨年ほどの展示スペースが確保できず多くのお雛様を飾ることができませんでしたが、それでも様々なお客様との交流があったり、町中が華やかな雰囲気になる中で、いろいろなイベントが行われたりと、とてもワクワクする楽しい期間を過ごすことができました。

また、同じく相川地区の岩谷口集落でも毎年豪勢なお雛祭りが有名とのこと、今回は、その岩谷口地域のお雛祭りの写真も掲載させていただきます。

相川ひな祭り実行委員会は10名前後の人数で構成され、ボランティアで相川地区のおよそ50カ所に「お雛様達」を飾られるなどの活動をしてくださっています。この活動には大きな労力がかかり、今後も、相川の雛祭りを継続していくために、活動への支援(ご寄付やボランティアへの協力)を望まれています。ご支援をしていただける方は相川ひな祭り実行委員会または、清水家ロビー(050-1720-9976)へご連絡ください。

(相川車座 雨宮)

「ちくちくの会」継続することになりました!!

「皆でお喋りをして冬を楽しく過ごしましょう。」と始まった企画ですが、最近では多くの方に関心を持っていただけるようになり、暖かくなっても終わるには少し名残惜しい「ちくちくの会」。そこで、冬限定の企画だったので、通年開催しようという運びになりました。

場所は相川下町交流ロビー(清水家ロビー)と、久保田きぬ子さん生家でも予定しています。暫くは、清水家ロビーで開催していきますので、興味のある方はご連絡ください。

(相川車座 雨宮)



岩谷口集落の豪勢なお雛祭り



清水家ロビーの雛飾りとちくちくの会の様子

地域おこし協力隊 伊藤幹太からご報告

先月号で「佐渡に残る」とお伝えしましたが、このたび地元である静岡に戻ることを決断いたしましたので、ご報告いたします。

先日、静岡に帰省した際に、親族との突然の別れを経験し、自分の人生について深く考えるきっかけがありました。その中で、以前から通っていたコーヒー店を訪れた際、オーナーの方からお声がけをいただきました。

もともとコーヒーには強い関心があり、自分の中でも大きな軸となっていたこともあり、帰島後に改めて考えた結果、より深くコーヒーと向き合っていきたいという思いが強くなり、今後は「コーヒーの道」に進むことを決意いたしました。これまで「佐渡に残る」とお伝えしていたこともあり、この決断には大きな迷いもありました。佐渡に残り、マルシェなどでコーヒーを提供していく未来も思い描いていましたが、今回のご縁を前に、自分の気持ちに正直に進むことを選びました。

佐渡で過ごした3年間は、本当にかげがえのない時間でした。多くの方々との出逢いに恵まれ、そのすべてが自分にとって大きな財産となっています。佐渡は、これからも自分にとって大切な場所です。また折に触れて訪れたいと思っています。3年間、本当にありがとうございました。(地域おこし協力隊 伊藤)

「飲食店待合案内所」を

ゴールデンウィークに開催します

今年も「飲食店待合案内所」をゴールデンウィーク期間に開催します。

「せっつかく相川に観光に来たのに、どの飲食店も満席で食事ができない！」そんなお困りの観光客の方々を減らすた

め、佐渡國相川あきんど会では、毎年ゴールデンウィーク及びお盆の時期に「飲食店待合案内所」を設置しています。

案内所では、各店舗の空席状況に応じて待ち合わせていただいたり、席が確保できた飲食店へご案内したりと、相川の飲食店でスムーズにお食事ができるようサポートを行っています。

昨年は約130名の方にご利用いただき、「お店選びに悩んでいたのが助かりました。」など、多くの嬉しいお声をいただきました。今年のゴールデンウィーク期間の開催日は次のおりです。この期間、街で食事場所を迷っている人を見かけたら、飲食店待合案内所をご紹介ください。

▼日時 5月2日(土)～4日(月)

17時00分～20時00分

▼場所 ぽんぽこホール

(佐渡國相川あきんど会 伊藤)

「相川冬のごちそう祭」開催結果の報告

佐渡國相川あきんど会では、今年の1月9日から3月15日までの期間に「相川冬のごちそう祭」を試験的に開催しました。

本企画は、佐渡國相川あきんど会に所属する複数の飲食店が連携し、冬ならではの食の魅力を発信するとともに、新たな冬の賑わいを創出することを目的として実施したものです。

開催期間中は、各店舗がそれぞれに趣向を凝らした期間限定メニューが提供され、地域の方はもちろん、他地域の方や観光で訪れた方など、多くの方に足を運んでいただき、冬の相川ならではの味を楽しんでいただく機会を提供することができました。

今後の開催については、今回の結果を踏まえながら、会で検討を進めてまいります。

(佐渡國相川あきんど会 伊藤)

第26回全国高等学校版画選手権大会の結果

第26回全国高等学校版画選手権大会は、1月21日の予選審査会で選抜された13校によって3月19日(木)から3月22日(日)まで団体部門の本選大会が開催されました。本選大会では、出場10回以上を数える学校3校、初出場校3校を含む13校が、今大会のテーマ(課題)「佐渡は語る」を各校それぞれの感性と技で表現しました。審査員による厳正なる審査の結果、初出場校の神奈川県立相模原中等教育学校が文部科学大臣賞の栄誉を手に入れました。

本大会の文部科学大臣賞を始めとする、各賞を受賞された5作品をご紹介します。



【文部科学大臣賞】「アミ」神奈川県立相模原中等教育学校



表彰の様子



賞状・盾・メダルを手に記念撮影



【日本版画協会賞】「変わらぬ春の喜び」岩手県立杜陵高等学校



【佐渡市長賞】「榑尾石丁場～石は語る」埼玉県立鴻巣高等学校



【新潟県知事賞】「舞語れ」大阪府立港南造形高等学校



【佐渡版画村賞】「やさしさのあめ」青森県立黒石高等学校

【お詫び】今回は紙面の都合により「あいかわ道草話」をお休みします。



作品制作の様子



開会式に華を添えてくれた あいかわこども園の海組の皆さん



開会式



表彰式・閉会式



交流会の様子

